

郷土資料館だより

Vol.36 No.3
2014.3.30

企画展示室 リニューアルオープン記念企画展「偉人たちの足跡を訪ねて」報告

- 開催期間 平成25年11月1日(金)～12月15日(日)
- 会場 郷土資料館1階企画展示室
- 展示資料数 78点
- 入場者数 11,341人

今回、郷土資料館は耐震補強工事と併せて館内のリニューアルを行いました。リニューアルオープン記念企画展として「偉人たちの足跡を訪ねて」を行い、源頼朝、武田信玄、徳川家康、太宰治など学校でも習った有名な人物を取り上げました。三島の町は古くから交通の要所であり、多くの人々が往来しました。展示では、人物と三島でのゆかりの地をリンクさせ、地図入りのパンフレットも制作しました。三島には歴史上の人物ゆかりの地が数多くあることを再発見していただけた展示になりました。

主な展示内容

◆三島の頼朝伝説をたずねて

源頼朝が松の木の下で仮眠したと伝わる間眠神社や写経を奉納したと伝わる法華寺など、頼朝が百日祈願をした蛭ヶ小島から三嶋大社までの道程の逸話の紹介や、仁田四郎忠常の墓など近隣のゆかりの地を紹介しました。

◆武将たちと三島

三嶋大社に参詣し武運長久を祈ったという北条早雲や、小田原攻めで箱根の要害山中城を半日で落城させた豊臣秀吉、鷹狩りを好み各地に御鷹部屋を建設させた徳川家康など、三島と関わりのある武将たちを紹介しました。

◆三島を訪れた文人

文豪太宰治や井上靖を取り上げ、太宰治が三島の地に初めて降りた下土狩駅(当時の三島駅)や、井上靖の小説「夏草冬濤」での情景など、彼らがみた三島の風景を当時をしのばせる古写真や絵葉書などで紹介しました。

◆三島を訪れた異人たち

シーボルトの『江戸参府紀行』、タウンゼント・ハリスの『日本滞在記』などから三島の記述を抜粋し紹介しました。



企画展「偉人たちの足跡を訪ねて」関連事業 報告

- ◆三島の歴史・伝説をめぐろう ●会期中開催 ●参加者数 15人
企画展示室にてクイズを設置し自由に参加していただきました。参加者には記念品(浮世絵葉書)を用意しました。
- ◆火縄銃にさわってみよう ●会期中の土曜日開催 ●参加者数 43人
企画展示室内で館所蔵の火縄銃の重さを体感していただきました。山中城合戦屏風に背に火縄銃を持って写真撮影もできるようにしました。
- ◆紙芝居上演 一合戦山中城一 ●会期中の土曜日開催 ●参加者数 96人
山中城の戦いの紙芝居を制作し、郷土資料館前で行いました。小さなお子さんにも三島の歴史を楽しんでいただきました。

企画展 三島宿を支えた人々 三島 問屋場・町役場文書から

- 開催期間 平成26年4月12日(土)～6月29日(日)
- 会場 郷土資料館1階 企画展示室

郷土資料館では平成25年度に三島宿問屋場文書、市役所文書、中郷村役場文書などを「三島 問屋場・町役場文書」として整理し統合しました。この中には江戸時代の三島宿での宿や助郷による宿継(宿場での人・モノの輸送業務)に関する記録や近代の行政資料など多くの貴重な資料が含まれています。今回はとく江戸時代の問屋場文書を取り上げ、三島宿や周辺の村の人々が宿場のしごとにとどのように関わっていたのかについて、浮世絵や絵図なども参考にしながら紹介していきます。



左：馬の駄賃を示した古文書
中：問屋場の財政記録
右：問屋場を描いた浮世絵
(東海道五十三次之内 藤枝)

リニューアルオープン記念事業「古今伝授のまち三島と郡上大和」報告



講演会の様子

リニューアルオープンの11月1日は「古典の日」であることから、三島で行われた古今伝授についての記念事業を行いました。11月1日(金)から13日(木)まで多目的室でパネル展「古今伝授とは?」を開催したほか、11月4日(月祝)には生涯学習センターで『公家の文化から民衆の文化へ「古今伝授のまち三島」とは何だ?』と題して講演会を行いました。古今伝授の里フィールドミュージアム館長金子徳彦氏、伊豆史談会常任理事土屋比都司氏、三島宗祇法師の会会長藤岡武雄氏をお招きし、「東常縁と宗祇」「古今伝授の場所」「宗祇の三島千句」の各題でお話いただきました。中世の三島で行われた東常縁から宗祇への「古今伝授」についてさまざまな角度から理解を深めることのできた講演会になりました。

ふるさと講座「駿東・伊豆の古墳探訪」報告



原分古墳

- 開催日時 平成25年10月5日(土)
午前9時～午後3時
- 講師 長泉町生涯学習課 広瀬高文氏
三島市郷土資料館長
- 見学地 長泉町内2か所(原分古墳、長泉町文化財展示館)、
三島市内3か所(井之森古墳、向山古墳群、夏梅木古墳)
- 参加者 23人



向山古墳群

昨年から続く「駿東・伊豆の古墳探訪」の2年目となる今年は、長泉町・三島市の古墳などを見学しました。小雨の降るあいにくのお天気でしたが、参加者のみなさんは時にはメモを取ったり質問をしたり、とても熱心でした。「くわしい解説を聞くことができて勉強になった」「原分古墳では内部まで見学できてよかった」など好評の声をいただきました。

来年度は伊豆の国市と函南町を訪ねる予定です。詳しくは広報・ホームページ等でお知らせいたします。ご参加お待ちしております。

「富士山の日」協賛事業報告

2月23日の「富士山の日」を記念して、協賛事業「絵画と写真で知る三島と富士山」としてパネル展とカルタ大会、溶岩の顕微鏡観察を行いました。

パネル展は2月20日(木)から28日(金)まで、多目的室で行いました。「富士山に見える風景」の今昔写真や、下田舜堂作「朝焼けの富士」、富士山をモチーフにした三四呂人形「JAPAN」、富士山が描かれた浮世絵などを写真パネルで紹介しました。



絵葉書「神川の富士」



環境カルタ遊びの様子

富士山の日当日の23日(日)には、富士山のめぐみである三島の湧水などが登場する環境カルタ遊びや、富士山の噴火によって流れた三島溶岩流の顕微鏡観察を行いました。小さなお子さんから大人まで、楽しみながら三島と富士山の自然を学ぶことのできた一日となりました。

郷土教室・体験イベントの報告



郷土教室「むかしの道具」

日 程：平成25年10月13日(日)
内 容：石臼、足踏み式ミシン、棹ばかり、
台ばかりの体験
参加者：81人



「三島暦の印刷」体験

日 程：平成25年11月16日(土)
内 容：三嶋暦の印刷体験
参加者：46人
協 力：三嶋暦の会

郷土教室「楽寿園の自然」

日 程：平成25年11月10日(日)
内 容：どんぐりの首飾り作り、はっばの拓本、
化石と溶岩の観察会
参加者：41人



郷土教室「ワラ細工を作ろう」

日 程：平成25年12月 8 日(日)
内 容：ワラで縄をない、輪にしておかざりを作る
参加者：55人



郷土教室「富士山お手玉を作って遊ぼう」

日 程：平成26年 1 月12日(日)
内 容：富士山の形のお手玉を作り、お手玉遊び
を楽しむ
参加者：11人

毎月第2日曜日の郷土教室のほか、楽しく学べる体験を来年度も多数予定しています。開催日程や内容などは、広報やホームページ等でお知らせいたします。みなさまのご参加をお待ちしています。

「むかしの暮らし」 学びに来たよ！～校外学習～

小学校で学ぶ「昔の暮らし」の授業の一環で、今年もたくさんの小学生が郷土資料館にやってきました。

初めて見る道具にみんな興味津々。道具のスケッチやメモにいそむ子、スタッフを質問攻めにする子など、とっても熱心に勉強しています。

「三島の暮らし」体験学習室見学



石臼で大豆挽き体験



足踏み式ミシン体験



企画展示室見学

～平成25年度校外学習受入れ実績～ 市内小学校11校、市外小学校2校（長泉町1校、函南町1校）

寄贈資料の紹介

平成25年10月から平成26年2月までに、次の方々から寄贈のご協力をいただきました。ありがとうございました。

三島市 芹沢 嘉人氏	水路図（千貫樋、明治11年）1点
三島市 栗田 悦子氏	電気アイロン2点
三島市 野口 智代氏	三四呂人形「春日庭」ほか関連資料
三島市 山田 芳廣氏	工業用足踏み式ミシン（ブラザー社製）1点、ミシン小物1式
三島市 山本ミシン商会	足踏み式ミシン本体部分（ブラザー社製）1点
三島市 田村 八束穂氏	足踏み式ミシン（シンガー社製）1点、ミシン教本1冊
三島市 原田 蓉子氏	伸子針一括、張り手2組、木槌2点、ゆのし用ヤカン1点、巻き板2点 紺屋道具一式、初午のぼり一括、メンコー一括、三島町防火郡長囑託状1点 消防団記念火鉢（木箱入り）2点
三島市 小早川 常男氏	御東幸御当日供奉御泊御昼御弁当御人数御乗馬取調書上帳（明治元年）1点、 御用留之写（万延元年）1点、山口余一書（掛軸）1点、三島宿内絵図1点、 教育資料一括、掛軸一括



紺屋道具一式より
上：木製染物型
右：色見本帳



伸子針



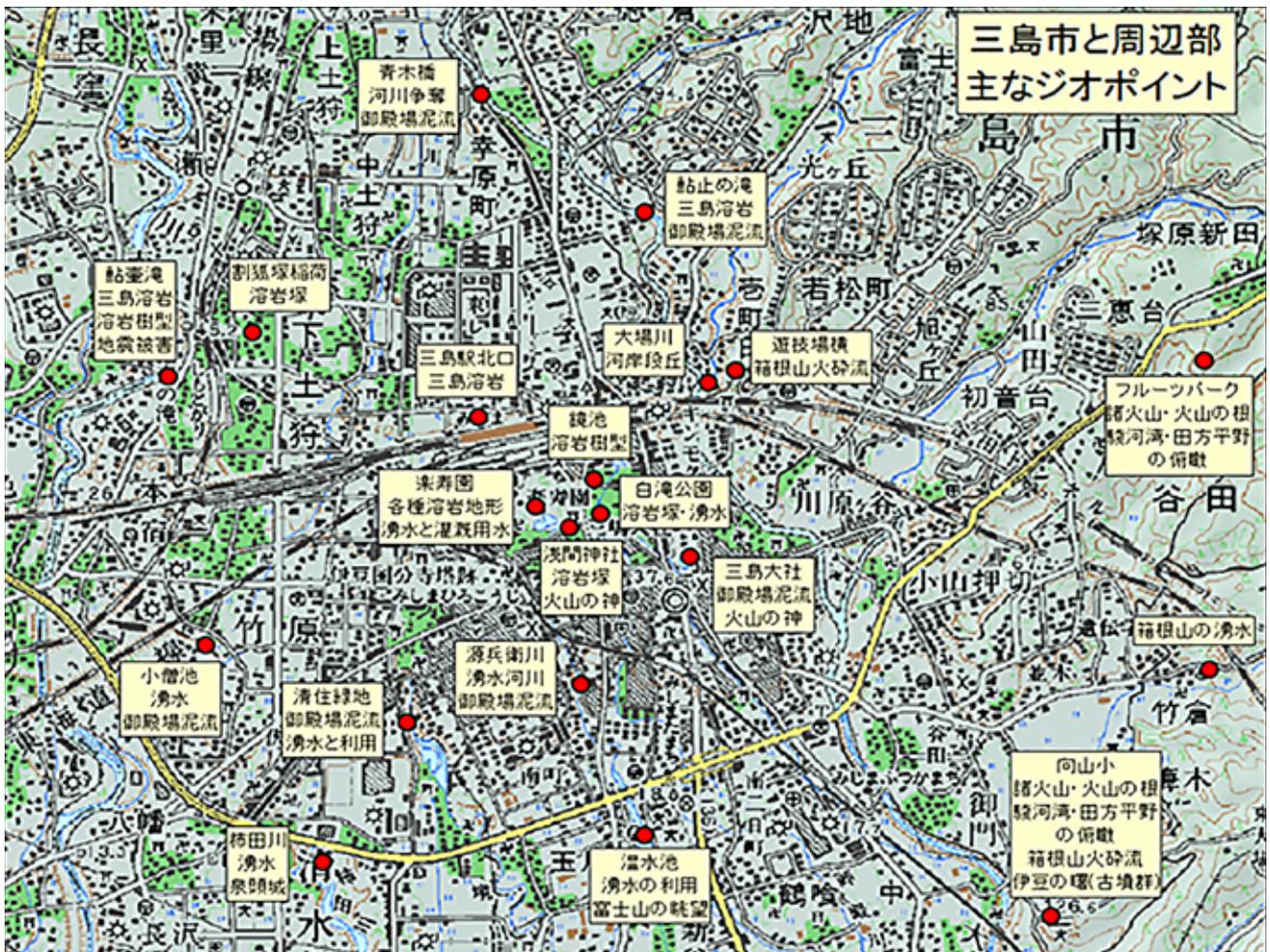
張り手

伊豆半島ジオパーク構想 Vol.10

今回は、三島市・清水町・長泉町の代表的なジオポイント（ジオサイト内の具体的な見学場所）を地図で紹介しします。本文は市内ジオサイトの構成要素の説明です。

三島市内のジオサイトは、平坦地＝「三島ジオサイト：富士山の溶岩流と湧水・火山神を祀る諸神社・富士山大崩壊(御殿場泥流)起源の巨石とその利用・石燈籠などに残された北伊豆地震(1930年)の爪痕・数百万年前の凝灰岩(海底で固まった火山灰)で造られた石造物群」と、箱根山西斜面＝「箱根南西麓ジオサイト：箱根火山の火砕流台地・周辺山地や駿河湾の眺望・富士山起源の風化火山灰土(ローム層)と農作物」に大別されます。

2つのジオサイトを丁寧に観察すると、数え切れないほどの「ジオポイント」があります。市内にあるすべての神社・寺院・河川・むき出しの崖・見晴らしの良い場所(高台・平野・ビルの屋上)・農地・石造物(石燈籠・石仏・石橋・石倉・石壁・古い墓標…)などは、それぞれが「伊豆や三島の生い立ち・歴史」を物語るジオポイントです。



伊豆半島及び三島市の生い立ちや歴史を知り、そして健康を維持するためにも、市内のジオポイントを巡る「ジオツアー」を、散歩がてらに行ってください。

最近では市内の再開発が加速し、先人達が築き守ってきた「美しい自然景観・農地・歴史ある建造物や石造物」など、ジオポイントが次々と姿を消しています。三島が発展する事はうれしいですが、同時に市内のジオポイントの持つ価値を再確認し、保存できるものは「ジオ遺産＝文化財」として後世に伝えたいものです。

三島市郷土資料館運営協議委員会 増島 淳

平成26年度 第2回郷土資料館運営協議会

●平成26年 1月30日(木) 13:30～ ●三島市郷土資料館多目的室 ●出席者 12名

郷土資料館には館の円滑な運営を図るため、郷土資料館運営協議会が設けられています。平成26年度第2回郷土資料館運営協議会は、任期(2年)満了に伴う委員の改選を受け、12人の委員に対し委嘱状交付が行われました。

長年にわたり郷土資料館運営協議会委員を務められ、本市の文化の振興に寄与された山田益美前委員をはじめとする3名の方に対し感謝状を贈呈しました。

(都合により当日欠席された諏訪部敏之前委員、原知信前委員には後日、贈呈しました。)

今回任命された委員の方々には今後2年間、郷土資料館の運営等について意見や助言をいただきます。それらの意見を参考にしながら館の資質向上に努めてまいります。

委員長	迫田 信行
副委員長	増島 淳
委員	井出多美子、加藤雅功、奥村徹也、竹林重行、橋本敬之、坪井則子、斎藤幸蔵、河合龍明、小西政司、埜瀬紀子

任期 平成25年12月10日～平成27年12月9日

(順不同・敬称略)



刊行物のご案内

「三島 問屋場・町役場文書目録」平成26年3月末刊行予定

問屋場とは、人馬の継立や物の往来など宿場機能の中心的な仕事を担っていた施設です。三島宿の問屋場に関する資料は三島町役場に引き継がれ、近世から昭和にかけての行政資料が継続的に残された貴重な文書群を成しています。

郷土資料館では今年度の事業として、現在資料館に収蔵されている三島宿問屋場に関する資料を網羅的に調査しました。その結果を目録としてまとめたものが本書です。

巻末には、今回の調査によってわかった三島宿の様子を紹介する報告も収録し、読み応えのある内容となっています。宿場研究や地域史研究におすすめの一冊です。

図録「三島宿を支えた人々」平成26年3月末刊行予定

宿場ってどんなところ？何をやっているの？三島宿問屋場文書の調査によって、何がわかったの？本書では資料調査から見てきた「宿場のお仕事」について、宿場はどのような人びとによって支えられていたのか、古文書や絵画資料を引用してわかりやすく解説します。

三島宿への理解が深まり、4月から始まる同タイトルの企画展がもっと楽しくなる一冊です。



「五街道宿々御取調二付左之通り書上ル天明度已来済口証文之写」
嘉永3年(1850)

郷土資料館のご利用案内

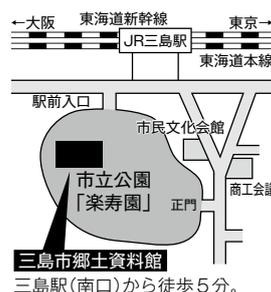
〒411-0036

静岡県三島市一番町19-3 楽寿園内
TEL055-971-8228 FAX055-971-6045

開館時間 午前9時～午後5時(4月～10月)
午前9時～午後4時30分(11月～3月)

休館日 毎週月曜日(祝日のときは翌日)／
年末年始

入館料 無料(ただし楽寿園入園の際は有料)



郷土資料館だより

vol.36 No.3(第108号)

発行日 平成26年3月30日(年3回発行)

編集 三島市郷土資料館

発行 三島市教育委員会

E-mail: kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp

URL: http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/